

令和3年度 第1学年 後期授業アンケート結果 分析表

国語総合 (現代文)	ペアワークやグループ発表を前期以上に積極的に取り入れ、読解を深め合う授業に取り組む中で、多くの生徒が主体的に学んだ。今後も生徒にとって世界の広がりや深まりにつながるような授業に努めたい。
国語総合 (古典)	予習復習のリズムを確立しながら多くの生徒が基礎的読解の力を高めていった。今後も生徒が様々なジャンルの古典作品と出会いながら主体的に古典に親しんでいけるような授業を心掛けたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループワーク等を実施した回数が少なかったため、その点を改善し、今後は、生徒自ら学ぶ機会を増やしていきたい。
数学 I	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。ICTなど適切な場面で使用し理解を深められるような授業を展開していきたい。予習・復習といった学習の取り組みについても主体的に取り組めるような働きかけをしていきたい。
探究数学 A	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。ICTなど適切な場面で使用し理解を深められるような授業を展開していきたい。予習・復習といった学習の取り組みについても主体的に取り組めるような働きかけをしていきたい。
自然科学基礎 (物理分野)	多くの生徒が、授業への取り組み、難易度について肯定的に答えているが、学校設定科目として研究開発中の科目であり、改善の余地のある科目である。また、来年度から新たに研究開発していく2年次の探究につながる科目でもある。今年度の授業内容を検証し、基礎と探究とを組み合わせ、生徒の科学的素養が段階的かつ系統的に高まるような授業作りをしていきたい。
自然科学基礎 (化学分野)	後期になり、学習内容がより難しく広範囲になってきたにもかかわらず、生徒たちの授業に対する取り組みは概ね良い。科目に対する興味関心とともに、生徒自身の考察力が高まるような授業を今後もこころがけたい。
自然科学基礎 (生物分野)	回数的に十分とはいえないものの、アンケートからは、進度や難易度などは概ね適切であると答える生徒が多かった。一方で、その内容をより深く学びたいと答える生徒の割合はそれほど多くない。1単位の授業の中で興味関心を高めることができるような授業展開に努めたい。
保健体育	12月より選択制授業を導入し、グループ学習等の場面を設定している。それにより、班員との協力の中で主体的な学びにつながっている。タブレット等を効果的に使用する中で、技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得、同時にルールの学習をしながら、2年生からのより主体的な学びへとつなげていきたい。
音楽 I	多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。高校で新たに挑戦する楽器・学習内容も多く、音楽への関心・意欲が高まり、さらに、グループ活動を通して理解が深まったと回答する生徒が多かった。ICTを活用し視覚的支援にも努め、音楽表現の楽しさを味わわせるとともに、生涯にわたって芸術を愛好していく生徒の育成に努めたい。
美術 I	多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。特に授業の難易度・授業の進度・先生の説明はポイントが的確でわかりやすいですかについて、生徒はちょうどよい(大体わかりやすい)と回答している。今後も適切なアドバイスや指導で授業を展開していきたい。
書道 I	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習による創作活動が後期はでき、生徒はその活動に良さを見だしている。生徒たちの意欲がより増し、芸術的な思考が活性化できる内容を今後も展開していきたい。
コミュニケーション英語 I	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組む生徒が増え、検定試験等への挑戦も増えている。予習・復習の習慣化を更に促し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
英語表現 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。話す活動にも積極的に取り組んでいる。予習・復習を促しながら、コミュニケーション力を伸ばすための効果的な活動を更に検討し、発展的な内容に取り組んでいきたい。
家庭基礎	多くの生徒は積極的に取り組んでいる。実生活でも得た知識を役立てようと思う生徒も多く見受けられた。日々の授業で、最後まで生徒を飽きさせないような工夫が必要である。グループ学習で周りとの協力しながら問題解決していくなど主体的な学びになるような活動を今後も展開していきたい。
情報の科学	前期同様に多くの生徒が集中して取り組んでいる。最後まで興味関心が持てるような授業展開を心掛け、高い関心・意欲を持つ生徒をさらに伸ばす指導を行う。実習では結果に至るまでの過程をしっかりと理解できるようになり、より効率的なプログラムを作成する生徒が増えた。引き続きプログラミング的思考力の育成に努めたい。

令和3年度 第2学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文 B	取り組みは概ね良好である。引き続き、しっかりと思考をめぐらしそれを文章化していくという経験を授業の中で少しでも多くできるように教材や授業展開の工夫をしていきたい。問題演習の際は解答への道筋がわかるような説明を心がけたい。
古典 B	予習、復習への取り組みは概ね良好ではあるのだが、前期に比べるとやや取り組みが甘くなっているように感じられる。再度、学習課題や学習方法についての明確な指示、生徒の到達度の丁寧な把握を心がけることで、生徒自身の学習意欲を高めていきたい。
世界史 A	概ね良好な回答を得たと考えている。後期はグループ学習・調べ学習を取り入れた授業を積極的におこない、生徒の理解や意欲が高まり、かつ学習の深さも得られるように授業改善を行っていきたい。
世界史 B	多くの生徒が意欲的に取り組み、興味関心も高まったようで、授業内容・難易度・進度などについても概ね良好な回答を得た。グループ学習について理解しやすいとの回答も見られ、進度や社会情勢を考えながら実施を検討したい。一部困難を抱える回答も見られた。生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史 A	前期同様、教室での講義形式の授業はほとんど行わなかった。主に学校図書館を利用して、グループ分けを行い、教科書の記述に対して、本県ではどういう状況だったのか、原史料の読解、発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進度・難易度などに対し、前期以上に概ね満足という結果であった。今後も教科書の記載に沿いつつ、多くの歴史的事実が存在することを意識させ、同時代の史資料活用などを通じて、歴史に対する理解が深まるように気を配っていきたい。
日本史 B	概ね良好な回答を得たと考えている。授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答は前期に比べやや改善されたが、依然一部見られた。今後、進度が進むにつれて益々暗記では対処しきれなくなるので、視聴覚教材も取り入れた復習の機会を増やし、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていきたい。
地理 A	前期と同様に良好(肯定的)な回答が多かった。しかし、生徒の学習意欲や関心を引き出す点で改善の余地がある。1月以降「探求学習」、「調べ学習」を行う予定である。今後とも授業方法や教材なども改善していきたい。
地理 B	協調学習・調べ学習に伴う発表、小テストを毎時間とはいかないが短時間でも取り入れてきた。授業進度や難易度の面では概ね肯定的な評価であったが、前期に比べ、興味や関心を引き出すという点では評価に差が広がってきた。生徒の知的好奇心がさらに高まっていくよう、より良い授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	授業に集中して取り組むことや授業の難易度に関しては肯定的な回答が多いが、後期になり、内容が複雑化するとともに「授業進度が速い」と感じる生徒が多くなった。「家庭での予習・復習を前提に、授業では深い考察を行う」というイメージで授業に取り組んでほしい。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。
数学Ⅱ	大きく変化が無いように見えるが、生徒の興味関心、授業への取り組みがやや落ちてきている傾向にあると思われる。学年担当者で授業を振り返り、生徒が自主的により取り組めるような指導の工夫をするなど、改善していきたい。
数学 B	大きく変化が無いように見えるが、生徒の興味関心、授業への取り組みがやや落ちてきている傾向にあると思われる。学年担当者で授業を振り返り、生徒が自主的により取り組めるような指導の工夫をするなど、改善していきたい。
化学	前期と比べ、授業に集中し、科目に関する興味・関心が高まった生徒が増えている。そんな中、週2時間の授業時間では授業進度が遅すぎると感じている生徒も増えている。このことから、家庭での予復習を大切に指導がより一層必要であると思われる。予習をして授業に臨み、実験を通して理解を深め、演習を通して知識を確実にするリズムが定着するよう、今後も心がけたい。
生物	今年度から2年で「生物」の授業が始まり、週5時間実施している。生徒の体感としては(例年の生徒と比べて)進度が速く感じているようである。QuizletなどのICTを活用した活動を取り入れたり、家庭学習なども促したりしながら授業展開を工夫していきたい。
物理	アンケートでは、集中して授業に取り組んでいるとほぼ全員が答えているが、授業と予習・復習とが学習の両輪となっている生徒は少ないのではないだろうか。授業者から見ると、授業中の質問が少なく、予習無し状態で授業に臨み、授業の中で初めて内容に触れている生徒が多いようである。授業を、疑問を解決したり、理解を深める場として活用してほしい。
生物基礎	前期と比較すると、より能動的に授業に取り組む生徒の割合が増えてきている。その一方で、内容に関して興味関心が高まったと答える生徒はあまり変わらないことから、より教科の内容の面白さを伝えたり、社会との関連性を見つけられるような授業改善に努めたい。
化学基礎	昨年度から継続して学習しているということもあり、よく内容を理解できている生徒も多い。今後より深い内容の学習にも取り組み、生徒たちの能力向上につなげたい。
地学基礎	授業を通して興味関心を高めた生徒が見られる。基礎的な事項を身につけた上で探究的な活動で理解を深められるよう工夫して授業を行いたい。また、知識が定着するよう演習にも取り組んでいきたい。
物理基礎	1年生での既習事項の発展的内容を取り扱っている。発展的で難しい内容も多いが、少人数クラスの特性を活かし、生徒の疑問や質問をクラスで共有し、全員が納得できるまで教員・生徒間で議論ができていく。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。タブレット等を効果的に使用しながら、3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、学習活動に非常に積極的である。予習・復習も習慣化されており、英語運用能力の向上を図ろうと生徒それぞれが工夫して学習に励む姿が見られる。
英語表現Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。コミュニケーション活動に意欲的に取り組み、英語運用能力を更に高めようとして工夫して学習する姿が見られる。

令和3年度 第3学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	授業の難度、進度は概ね生徒の実態に合っているようだ。全体的に学習に意欲的に向かっているが、復習が十分でない生徒もあるので、復習を促す働きかけをしていきたい。
古典B	授業の難度は上がっているが、よく努力している。今後も、基本事項の確認を繰り返し行いながら、それらを用いることで「自分で読める」喜びを感じさせ、さらに深い理解につなげていきたい。
世界史B	授業の難易度・進度・わかりやすさなど多くの項目で前期に引き続き肯定的な回答が多かった。授業を受けて興味・関心が高くなった生徒も同様に多く、大多数の生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。今後も引き続き生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史の多面性を感じたり歴史への関心や理解が深まるような働きかけをしていきたい。
日本史B	前期以上に肯定的な回答が多く、生徒たちが主体的に学習に取り組んでいることの表れと感じている。授業の進度と生徒の理解度を両立させることに尽力した結果、一定の成果は出ているように見られる。協働学習の機会がコロナの影響で大幅に減っているが、その中でも歴史的知識や読解力をベースにして深く考察していくことができる展開を工夫したい。
地理B	学習意欲はある程度高く、関心を持って授業に集中して取り組んでいる。アンケート項目への回答は肯定的なものが多く、地理的事象に関心をもって理解を深める学習を継続したい。様々な主題に関する諸資料を読み取って考察する学習は工夫を重ねたい。
政治・経済	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。
数学Ⅲ	多くの生徒が授業に集中しているが、内容の深まり、授業スピードが早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでてくる可能性がある。予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
発展数学 ⅠAⅡBⅢ (理系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
発展数学 ⅠAⅡBα (文系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
発展数学 ⅠAⅡBβ (文系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
化学	アンケートの結果以上に進度を気にしている生徒が多くいたが、予定どおり教科書を終えることができた。生徒が意欲的に取り組んでおり、アンケートはおおむね良好な結果であった。授業の難易度については、適切であると感じてくれていて、苦手意識を持つ生徒や理解不足の生徒も多い。実験も必要に応じて取り入れたい。
物理	前期と比べて授業が演習中心になったこともあり、生徒の取り組みや理解度が上昇した。理解が深まった結果、その分野により興味を持った生徒もおり、更なる取り組みに繋げていきたい。
生物	後期途中までは教科書の内容や実験を含めた内容を実施し、後半は演習問題を実施した。生徒の理解が深まり、能動的に学習する生徒が増えた反面、興味関心が高まった生徒の割合はあまり変化がなかった。入試のことのみでなく、この分野に関する興味関心が高まるような授業改善に努めたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 化学基礎	実践演習主体の授業としており、生徒の実力が徐々に問題のレベルによりやく追いついてきた感がある。授業への取り組みの積極性や授業レベルや内容についての満足度も上がっている。ペアワークなどを効果的に取り入れることも検討したい。
実践 地学基礎	演習中心になった結果、生徒の取り組み方や理解度に変化が見られた。質問をする生徒も多くおり、更なる興味関心や自主的な学習へつなげていきたい。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。タブレット等の効果的な使用については今後の検討課題となるが、これまでの取り組みを基本に、リーダーが中心としたメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができてきた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。
コミュニケーション英語Ⅲ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできている。授業進度・難易度とも適切であると肯定的に捉えている生徒の割合が非常に高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られる。予習・復習の習慣が徹底されており、自主的に英語運用能力向上を図る力を身に付けている。
英語表現Ⅱ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできている。授業への関心・意欲・満足度の割合も高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られる。予習・復習も習慣化されており、自主的に英語運用能力向上を図る力を身に付けていると感じる。コミュニケーション力の育成にも関心が高く、協働学習に対して非常に積極的である。